

令和7年度 桜丘中学校入学試験 B方式 英語入試要項

2020年度の新指導要領の実施に伴い小学校では正式に「英語」が教科として導入されました。中学校レベルでは文部科学省は授業を原則英語で行うことを盛り込んだ「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を実施されています。

こうした社会情勢の下、これまで桜丘中学校が積極的に進めてきた英語教育を更に強化し、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする発信型の英語教育を目指していきます。

1. 審査目的及び概要について

3技能（読むこと、書くこと、聞くこと）の到達度を審査します。目安としては英検3級レベル（CEFR A1～A2レベル）の実力があることを想定した試験となります。

2. 審査方法

1) 筆記試験（45分程度）

測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	問題の種類	解答形式
リーディング	短文の語句 空欄補充	文脈に合う適切な語句を補う。	10	短文 会話文	4肢選択 (選択肢印刷)
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な文や語句を補う。		会話文	
	長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10	掲示・案内、Eメール (手紙文) 説明文	
ライティング	質問に対する回答を英文で書く。	質問に対する回答を英文で書く。	1	(英作文なので問題文はない)	記述式
リスニング	会話の応答文選択	会話の最後の発話に対する応答として最も適切なものを補う。 (放送回数1回、補助イラスト付き)	5	会話文	4肢選択 (選択肢読み上げ)
	会話の内容 一致選択	会話の内容に関する質問に答える。 (放送回数2回)	5		
	文の内容 一致選択	短いパッセージの内容に関する質問に答える。 (放送回数2回)	5	物語文 説明文	4肢選択 (選択肢読み上げ)

*備考 リスニングテスト（15分程度）

- (1) 英検3級レベルの内容の聞き取りをしてもらいます。
- (2) 解答は選択問題となっています。

3. 評価項目

1) リーディング、ライティング

- (1) 読解力（主題や要約を把握する能力）を審査します。
- (2) 基本的な文法ルールや語彙力を審査します。

2) リスニングテスト

- (1) ゆっくり（または繰り返して）話されれば、興味・関心のある話題に関する話を理解することができるか。（趣味に関すること、好きな音楽やスポーツのことなど）
- (2) ゆっくり（または繰り返して）話されれば、日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いてその話の内容を理解できるか。（学校、クラブ活動、週末の話など）
- (3) ゆっくり（または繰り返して）話されれば、簡単なアナウンスを聞いて、理解することができるか。（集合場所、乗り物の出発や到着時刻など）
- (4) ゆっくり（または繰り返して）話されれば、簡単な道案内を聞いて、理解することができるか。（例：Go straight and turn left at the next corner.）
- (5) よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても、その意味を理解することができるか。（例：Could you~? / Don't you ~?）

4. 英語ハイグレードクラスについて

英語入試はあくまでも桜丘中学校への合否を決めるものです。ハイグレードに入るには、合格が決まったのち『英語アセスメントテスト（実力テスト）』を改めて受験していただく必要があります。『英語アセスメントテスト』は50分程度のリーディング、ライティング、スピーキングを中心としたテストで、そのテストで一定の結果を残した人がハイグレードクラスに参加することができます。

普通グレードからハイグレードクラスに移行希望者は、毎年3月に実施するチャレンジテストを受験し、一定の成績をおさめればハイグレードクラスに参加ができます。